いやさか NEWS

vol.10

May 30 2017

●発行：日本ボーイスカウト東京都連盟　日野第2団　●編集者：中村俊郎　●住所：東京都日野市程久保4−7−14　●ホームページ：http://www.hino2.tokyo/

「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」

「ただで受けたのだから、ただで与えなさい。」マタイの福音のイエス様の御言葉がわたしの司祭召命のきっかけでした。まず、命、そして家族や信仰など、全てを神様からタダで受けたのだから、その全てのものを神様と皆さんのために使いたいと思って２０歳で宣教者の養成を受けるため神学校に入りました。

神学校の養成のとき、非常に印象深い体験がありました。哲学部の勉強が終わってすぐ、1年間バンガロール市でストリート・チルドレンのために働いたときのことです。ここではやはり、この子供たちの家族の状況、貧しさや苦労を見ながら、自分の家族のことや自分の貧しさについて考えて「僕は本当に幸せだ」と思ったことが何回もありました。「神様はわたしの人生の道をよく定めてくださったのだ」、だから、自分の命を神様と隣人のために使わなければならないという考えが強くなったのです。

続いて2003年30歳で司祭に叙階され、すぐ、インドで１０年間若者の養成を担当することになりました。ミラノ会の司祭は外国宣教者なので、外国で奉仕するのが一番だと思っています。私も2013年に日本に派遣されて大喜びでした。

2013年9月11日、来日してすぐ日本語の勉強を始めました。日本語は本当に難しい言葉です。辛いと何度も感じましたが、いつも自分の神学校の体験を思いだしながら再スタートしました。「日本語がお上手ですね」という表現は日本人の皆さんからの単なる褒め言葉じゃなくて、私にとっては励ましの言葉で、頑張っていく気持ちが強くなります。

今年４月カトリック高幡教会の主任司祭として任命を受けました。司祭は自分のためではなく、皆のために働く者だと思います。特に宣教者はキリスト者だけではなく、信じない方のためにも働く義務を持っています。ですから、皆さんとご一緒に、ただで受けた信仰をただで与えて行きたいと思います。この教会の扉と皆さんの心の扉がいつも開いている恵みを願い、日本の皆さんへの奉仕に命ある限り勤めていきたいと思います。

皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年5月

高幡教会 主任司祭
ロールド ザビエル

ベンチャー隊 北八ヶ岳訓練キャンプ 感想文

「二回目の北八」

築城希

僕は北八ヶ岳に２年目で登りに行きました。北八ヶ岳の計画は 12 月後半から始まりました。

今年も北八ヶ岳に登るんだなと思いました。今回僕が担当した北八での係は食当でした。

僕が１年目登った時は３人で計画が楽でしたが、今回は 11 人という大人数での計画でした。

食当は各日にちの献立と１人あたりの材料を計算するというものでした。特に一人当たりの材料の計算は何ｇという単位まで出すのでとても大変でした。

北八計画当日、朝６時に集合し、朝のパッキングを済ませ、出発しました。今年の北八ヶ岳は昨年より雪が多くてゲートには雪がだいぶ積もっていました。まずは山小屋までの荷揚げをします。

僕は昨年よりも部活動も活発にしていなくて体力的に自信がありませんでした。でも、いざ登ってみるとコースも知っていたからか昨年よりも割とスムーズに登ることができました。初年度の３人は１人約 30kg ぐらいの荷物を背負って登っていてそのうち１人は僕が持っても重いと感じるほど重くつらそうだなって思いました。そしてしらびそ小屋にみんな見事に上がることができ、１年ぶりに帰って来たなと思いました。

その日の夕食はスタミナちゃんこ鍋で、僕は味付けを担当しました。味付けにあまり自信はありませんでしたが、味付けうまくいきよかったです。自分が書いた献立には所々ミスがありうまく成立はしませんでした。

３日目の雪かきはしらびそ小屋の奉仕としてやり、トイレへの通路が見えるまでやりました。

終わった後に食った名物のトーストはとてもうまかったです。

最終日での恒例のパーティではがんばって持ってきたお菓子などを食べました。

そして荷上げの半分のペースで下山しゲートに着きました。これで終わりではなく八峰の湯まで歩き昨年ではビリでしたが、今年は２位でゴールでした。今年の北八はとにかく身体的に余裕でした。

次の北八も今回の反省を生かして楽しい北八にしたいです。

「僕の北八」

上田晟生

今年の北八ヶ岳訓練キャンプは僕にとって特別な経験になりました。僕は去年に引き続き二年目二回目の北八で去年は日程や練度の関係で登れなかった天狗岳にも登れました。一年目の時は来年登ると言われて遠くに見えるあの高い山に自分が登れるのだろうか不安でしたが、いざ登ってみると大したことなかったは言い過ぎにしても大変ではなかったと思います。リベンジに意気込んでいただけにあっけないものもありましたが、天狗に登ったという経験は僕にとって特別なものでした。

また、宿での生活も去年とはひと味違いました。まず、夕飯の味が違いました。去年は全てのの食事を初年度の僕らが作っていましたが、今年は人数が多かったので当番制で食事を作ったわけです。そうしたら自分が作ってない飯を食べられるのでそれはそれで美味しいのですよ。ひとが作った飯を食べられるという幸せを味わっただけで二年目も来てよかったと思えました。

あと去年は２泊３日で今年は４泊５日ですから、日数が増えた分スケジュールにも余裕がありました。自由時間を作ってみんなでトランプをすることもできました。久しぶりにやるとトランプから色んなドラマが生まれておもしろかったです。

さて、今年は楽しかった北八ですが、ネットのつながらなかった山小屋にもラジオで届いたニュースがありました。

栃木県那須町のスキー場での雪崩事故です。僕らが東京に帰って来てから親や友人からこの事故を知って僕らを心配してくれていた話をされました。僕も無事に帰ってこれて良かったと思いましたが、これによって来年の北八の実施について議論されるかもしれないというのが僕の心配事です。

今回の北八は今までのどのキャンプより楽しかったですし、来年もまた行きたいと思わせてくれるものでした。

北八は古くからあるベンチャー隊の大切なイベントですし、そのための準備は怠りません。北八が来年はなくなるなんてことはないと願って、来年の北八と天狗を楽しみに今年も活動して行きたいです。

「北八感想文」

熊田舜士

自分は北八に始め登りたくなかった。だが、当時は上進するつもりはなかったので、最後のけじめとして登ろうと思い登ることにした。

実際に登ってみると今までの体験とは全く違って料理一つとっても今までのキャンプとは違い、米ではなくアルファ米であった。焚き火ではなくブスを使って料理する等新しい体験をすることができた。登山においてそういった面が特に大きかった。アイゼンやピッケル等の今まで使わなかった道具を用いて登った。始めは慣れない雪山歩くのに苦労したが少しづつ慣れて最終日にはある程度上手に歩けたと思う。

歩くのは疲れたが小屋は快適だったし、食事もまあまあ美味しかったので、楽しいキャンプだったと思う。

来年は今年来れなかった人も来れるといいと思う。今まで自分が思っていた以上につらかったが、気合いと根性でなんとかなるという大切な体験をすることができた。この体験は今後の人生で役に立つと思う。

今年のキャンプで感じたことを来年に生かせたら良いと思います。来年はもっと大勢で行きたいです。そうすればもっとやりたいことのできるキャンプにしたいです。

「北八」

吉田蓮

私は西暦 2017 年（平成 29 年）3 月 25 日の土曜日から西暦 2017 年（平成 29 年）4 月 1 日までの 5 日間天の川銀河オリオン腕太陽系第三惑星地球ユーラシア大陸アジア州東アジア（俗称特定アジア）日本国本州中部地方長野県中部位置する八ヶ岳の天狗岳の山頂を目指し、我々の所属する日野 2 団ベンチャー隊（正式名称日本ボーイスカウト東京連盟新多磨地区日野第 2 団ベンチャー隊）は天狗岳の山頂へと続く道中にあるしらびそ小屋に宿泊ことになった。

小屋の中は外気とは遮断されておりとても快適でした。そこで我々は小屋の外で食事を作ったりして生活しました。

慣れない環境下での炊事はとてつもなく困難でした。しかし景色は非常にキレイでした。今度は天体望遠鏡でも持って行きたいと思います。

「北八」

須崎公太郎

僕は 3 月 2 5 日から 29 日の 5 日間で今までにないたくさんの経験ができました。今まで雪山に登ったことがなかったので、どうなのかなと思っていたけど、アイゼンをつけて行くと想像以上に登りやすかったです。時々休んだり、水分をとったりしながら行ったけど山小屋まで登りきった時は今までにない達成感がありました、毎食夜飯は鍋だったけど寒い所で温かい鍋はとてもおいしかったです。

二日目、黒百合まで行く予定だったけど天狗岳まで行くことになりました。山頂付近までは晴れていたけど急に天気が悪化して山頂に着いた時は雪が降っていて下にどんな景色が広がっているか全然分かりませんでした。朝から山に登って疲れたので、ミーテイングが終わったらすぐに寝ました。

三日目、天気が悪かったので、奉仕活動として雪かきをしました。昨夜から積もった雪は昨日より量が増し、時間がかかりました。宿の人から差し入れをもらいました。とてもおいしかったです。午後は休んでいましたが途中からソリで遊びました。楽しかったです。

四日目、雪上訓練をやりました。難しかったけど回数を重ねることでできるようになって行きました。できたと実感できた時は嬉しかったです。夕方制服で外に出るととても寒かったです。写真が終わると急いで宿に戻りました。

最終日、下山が終わった後、長靴で八峰の湯まで行くのは大変だったけど、着くことができました。

このキャンプでここに書いたこと以外にも色んな経験ができました。来年も参加できたらなと思います。

2 回目の北八

石塚大和

わたしは上級生として北八ヶ岳登山訓練に参加しました。「北八は 2 回目のだから、大丈夫だろう」と甘く見ていた節があり、苦労が堪えなかったです。

北八登山本番、昨年より残っている雪が多く緊張がたかまりました。昨年より体力が上がっているとは考えていました。が、もしかしたら初年度に置いていかれるのではと考えていました。そんなことはありませんでした。笑っちゃうくらい重い初年度の荷物を見て少々かわいそうだった気もします。

しらびそ小屋についてひと息つくと間もなく初年度を動かして食事を作りました。全行程で食事はおいしく調理できました。作ったのは初年度ですが、達成感は上司として同じような気がしました。

天狗岳にアタックすることが話し合いで決まった時、緊張感と同時にわくわくもしてきました。しかしあいにくの天気で頂上からの景色は灰色一色でした。

来年こそ、また北八ヶ岳に登って頂上からのきれいな景色を望みたいです。

上進スカウト紹介

ボーイ＆ベンチャー隊

＜ボーイ隊＞

片山君　野外生活能力を身につけたい
齋藤君　（色々な意味で）力をつけたい
中村君　アウトドア活動を身につけたい

＜ベンチャー隊＞

池田君　カブ隊から入ってなんとか続けることができ、
　　ベンチャー隊に上進できることを嬉しく思います
伊藤君　色々な新しい事に挑戦したい
久野君　同年代のベンチャーとみんなで支えあっていきたい
熊田君　ベンチャーを楽しみたい
須崎君　楽しむために、しっかり活動に取り組む
宮君　これからは後輩の指導も増えるので頑張りたい
森山君　楽しい企画作りを頑張ります
吉田君　どんどん楽しい企画を作り、どんどん楽しんでいきたい

カブ隊

大山君　カブ隊、楽しいです。皆好きです。
　　フレンチトースト美味しかったです。
坂場君　今日、フレンチトーストを作りました。
　　ひっくり返したり、食べたり、楽しかった。おいしかった。
石﨑君　フレンチトースト美味しかった。
　　楽しいです。頑張る。
石森君　カブ、好き。フレンチトースト美味しかった。
　　いがいと楽しい。
千葉君　カブに上がって楽しい。
　　何かして、お友達がいて、遊べるから。
桑原君　カブ楽しい。皆で遊んだり、作ったりが楽しい。
　　ボーイスカウトに行きます。
上杉君　都合が合わず、インタビューできませんでした。
　　ゴメンナサイ。

活動便り
かつどうだより

さつき祭

5月21日、さつき祭が行われました。さつき祭は、今回で42回目になります。
メルセス会日野修道院の敷地に、5つのグループがあります。
先ずメルセス修道院、カトリック高幡教会、光塩幼稚園、そしてボーイスカウト日野第2団、ガールスカウト東京第77団です。
このグループが家族としてみんなで、高幡教会の守護聖人である、さつきのマリア様を思い、それぞれのグループを大切にしあい、交わりと一致を願ってさつき祭を行ったと聞いています。
スカウト達もそれぞれ模擬店やゲームを楽しみながら、みんなと交わり楽しい一日を過ごしたと思います。

日野第2団　副団委員長　鈴木英彦

ミサの風景です

平成29年度　各隊指導者紹介

ビーバー隊

左から安藤副長・山崎副長・近藤副長・石塚隊長

カブ隊

後左から大山副長・片山デンリーダー・千葉副長・
徳永 BVS 副長・辻隊長、前左から萩原君・柏倉副長補

ボーイ隊

左から田谷副長・熊田隊長・川原副長

ベンチャー隊

西原隊長